

豊富公民館 だより



(豊富公民館全景)

第328号

令和5年9月

発行者 豊富公民館

〒679-2122

姫路市豊富町御蔭 1118

電話：079-264-1477

公民館はみんなの“集い”“学び”“ふれあい繋がる”場です。

【9月の公民館講座】

スマホ教室(特別編)《事前申し込み必要》

今回のスマート教室は、「総務省デジタル活用支援」事業の一環として開催いたします。費用は無料です。

日時：9月26日(火)

場所：豊富公民館

講師：山田 貴史氏 (兼松コミュニケーションズ)

内容：『LINEの活用方法』

募集人数：8名(申込み先着順)

参加希望の方は、豊富公民館(電話:079-264-1477)まで申し出て下さい。電話でも可能です。募集開始は9月5日(火)よりいたします。なお、月曜日は休館日です。

折紙教室《形を変える立体折り紙》

講師：大畑 陸子氏

大畑先生に指導いただき、8色の色紙で作った万華鏡を作りました。

今回は、子ども達の参加もあり、大人と子どものペアで作業開始、「上手に折れたネ」「きれいなネ」「おばあさんの先生」等声をかられ、満足そうな笑顔が印象的でした。異世代のいい交流になりました。



9月の文化講座案内

※ Aは午前、Pは午後、Nは夜間を示します。

1	金	A フラダンス				
2	土	A 児童 和菓子とお茶席			P 囲碁	
3	日					
5	火	A リーダー会議	A 新舞踊	A 絵画	P パソコン	P 古文書
6	水	A コーラス		P カラオケ	P ヨガ	
7	木	A3B 体操	A 書道	P 太極拳	P 茶道	
8	金			P 健康体操	N 公民館推進委員会	
9	土	A 児童 絵画	A 詩吟		P 囲碁	
10	日					
12	火	A 新舞踊	A 絵画	P 絵手紙		
13	水				P ヨガ	
14	木	A 3B 体操	A 書道	P 詩舞	P 茶道	
15	金	A フラダンス		P 健康体操		
16	土	A 詩吟		P 児童 生花	P 囲碁	
17	日					
19	火	A 新舞踊	A 絵画	P パソコン	P 古文書	
20	水	A コーラス		P カラオケ		
21	木	A ふれあい 給食	A 書道	P 太極拳	P 茶道	
22	金	A フラダンス		P 健康体操		N 自治会
23	土	A 町史研	A 詩吟	P 囲碁		
24	日	A 陶芸教室				
26	火	A ふれあい 喫茶	A スマホ教室(特別編)		P 絵手紙	
27	水					
28	木	A すくすく広場	A3B 体操	P 太極拳	P 詩舞	
29	金					
30	土					

文化講座各教室の見学、入会は、いつでも可能です。教室によっては、講師の都合などで日時が変更される場合があります。

※ 括弧内は、文化講座以外の公民館使用を表しています

町史研究会へのお誘い 毎月第四土曜日 10:00~11:30

豊富公民館では豊富町史研究会を開催しています。

9月23(土)、「まつり」と題して、萩原 義明氏にお話していただきます。誰でも参加できます。気軽に足を運んでみてください。

人生100歳時代 “いつまでも住み慣れた豊富町で”
 《介護保険と自立支援》 講師：姫路市北包括支援センター



介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らす。

自 助 ↔ **互 助** ↔ **共 助**

- 1 体も心も健康に自立をめざす。
 2 人とつながる機会を積極的に持つ。

- 1 会話を通して、相互に理解を深める。
 2 地域での声かけや助け合い・ボランティア

- 1 介護保険制度
 2 介護サービスや支援サービス

お互いに、声かけや助け合いで、つながりの輪を広げ、絆を強め、ホッと心が和む、心の拠り所を見つける。一人ではないという感じる居場所を作る。

一人で籠らないで、大いに外に出よう！！

自立を支援するための制度やサービスがある。その介護保険制度やサービスの内容を知り、今の自分に応じた必要な支援やサービスを自らが選択する必要がある。その相談窓口の一つが、「地域包括支援センター」です。なお、講座の中で紹介された「いつも笑顔で 介護保険」は姫路市発行の冊子を公民館にも置いています。関心のある方はどうぞ申し出てください。

集まれちびっこ
 キッズひろば

《「川の生き物」教室》

児童センター・豊富公民館 共催

豊富在住の米田 照美氏に魚の生態や珍しい貴重な魚を紹介していただきました。



社会協議会豊富支部子育て支援

「すくすくひろば」今年度会費は無料です。

〈日時〉 令和5年9月28日(木) 10:00~11:30

〈対象〉 0歳~就学前

〈内容〉 季節行事・絵本読み聞かせ・手遊び

お母さん、一人で悩まないで！！
 みんなで語りましょう。



“庭草に 村雨降りて こほろぎの

鳴く声聞けば 秋づきにけり、

(作者不詳 万葉集 10-2160)

公民館の鈴虫が涼やかな音色で鳴き始めました。

秋の夜に私たちの耳を穏やかに楽しませてくれる秋の虫。思い浮かぶのは「マツムシ(チンチロ チンチロ チンチロリン)」「スズム(リンリン リンリン リンリン)」「コオロギ(キリキリ キリキリ)」「クツワムシ(ガチャガチャ ガチャガチャ)」「ウマオイ(チョンチョン チョンチョン スイーチョン)」ではないでしょうか。ピンとひらめいた方もいらっしゃるかもしれません。童謡「虫の声」に登場する虫たちです。

『虫聞き』といって秋の野山で虫の声を聞いて楽しむことで、平安時代から始まったといわれます。虫の声を聞く文化は広く伝わり、江戸時代には、秋の虫を籠に入れて売り歩く「虫売り」の商売が成立したそうです。

【9月の児童教室】 10月から「パン・洋菓子」が再開します。

「和菓子とお茶席」	9月	2日(土)	10:00~11:30
「絵画」	9月	9日(木)	13:00~14:30
「生花」	9月	16日(土)	10:00~11:30

公民館は毎週月曜日が休館です。

公民館は緊急時の避難所です。

公民館のE-mail : toyotomi@hi-net.city.himeji.hyogo.jp 作り